

協議事項（2）

地域で不足している外来医療機能（予防接種）に関する検討について

1 経緯

令和2年3月に「愛知県地域保健医療計画」の一部として「愛知県外来医療計画」が策定され外来医療に関する情報の提供を行うとともに外来医療機関間での機能分化・連携の方向等を協議する場を設置し、外来医療に係る取り組みが推進されている。

2 検討

外来医療計画において、ガイドラインで示す外来医療機能（初期救急医療、在宅医療、産業医、学校医、予防接種等の公衆衛生に係る医療）について、今後の需要増や担い手不足等により不足していくことが見込まれることから、協議の場において、地域で不足している外来医療機能に関する検討を行うとされている。

3 外来医療機能（予防接種）の現状

外来医療機能の現状について（資料2-2）を参照

4 海部医療圏の現状

公衆衛生医療（予防接種）については、ワクチンの種類により差があるものの、定期接種のA類疾病においては、12種類全てが愛知県平均を上回っている。

定期接種のB類疾病においては、2種類のうち1種類は県平均を下回るが順位としては第3位となっている。

任意接種の10種類のうち7種類が県平均を上回っている。

このことから、地域において予防接種に関して不足している外来医療機能ではないと思われる。